＜参考資料　３＞

施工確保対策について

平成27年12月18日
国土交通省　東北地方整備局

H26.9.27 復興加速化会（第4回）資料-1より抜粋

生コンクリート不足対策　三陸沿岸道路専用“公共生コンクリートプラント”の設置

（国土交通大臣からの第2回復興加速化会議時指示事項）

○国整備の生コンクリートプラント（宮古、釜石）については、
確実に来年（H26）９月から稼働させること。

○宮古地区８月、釜石地区９月から稼働開始

（宮古地区）



（工事名）国道45号摂待道路工事（田老岩泉道路）
※　本工事のほか、三陸沿岸道路9トンネル工事に供給予定
※　全体約15万㎥の製造を予定
（年間6～8万㎥規模のプラントを想定）
設置場所　：　宮古市田老字川向159
公共プラント稼働式　：　平成26年　8月31日



（釜石地区）



（工事名）国道45号新鍬台トンネル工事（吉浜釜石道路）
※　本工事のみに供給予定
※　全体約5万㎥の製造を予定
設置場所　：　釜石市唐丹町字桜峠62-1
公共プラント稼働式　：　平成26年　9月　3日



稼働式プレイベント【8月26日】
「地元中学生を対象とした生コン製造体験会」

H26.2.1 復興加速化会議（第3回）資料-1より抜粋

技能労働者の確保に着目した施工確保対策

○　技能労働者の確保対策として、「設計労務単価の引き上げ」、「間接工事量の補正」の他、現場打ちコンクリート構造物のプレキャストコンクリート製品への転換の拡大などにより、技能労働者（鉄筋工・型枠工）の必要人数の低減を図る。

横断ボックスにおけるプレキャストコンクリート製品の施工状況

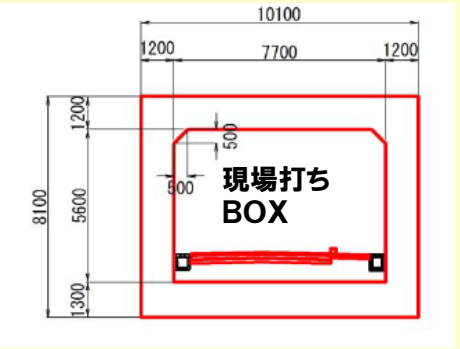
● 三陸沿岸道路の横断ボックスについては、特殊な構造のものを除いてプレキャストコンクリート製品への転換の拡大を図る。

◆　平成26年度以降　→　約　200箇所

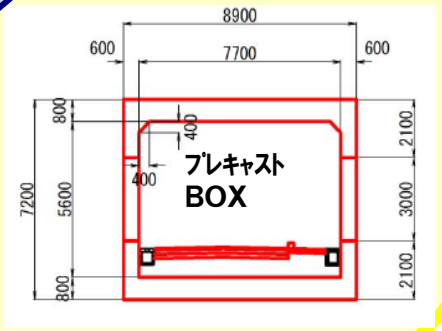
プレキャストBOXの搬入・据付状況







転　換



通常、現場打ちコンクリートで施工する、内空断面が4m2程度以上の大型のBOXカルバートをプレキャストコンクリート製品に転換。